

日本社会人団体馬術連盟馬術技能資格
A・B・Cグレード審査会 要項

社馬連資格審査会審査要領(Aグレード)

[審査項目]

1 筆記試験

出題内容は「日本馬術連盟騎乗者資格B級」程度です。

- ① 馬の馬体名称、毛色、品種、歩法、扶助、馬具、部班運動
- ② 馬スポーツ憲章
- ③ 馬の管理
- ④ 馬場馬術競技のルール
- ⑤ 障害馬術競技のルール

筆記試験の合格基準はAは70%以上を合格とする

2 実技試験

馬場馬術と障害飛越の2種目を実施する。

2種目の合計点の55%以上を合格とする。

配点は馬場馬術 100×0.7 = 70点、障害飛越 80点、合計 150点とする。

[実技試験審査方法]

(1) 馬場馬術

- ・ 別添の審査用紙のJEFA2課目経路を審査する。
- ・ 審査員(2~3名)の平均得点率の70%を得点とする。

(2) 障害飛越

- ・ コース : H100、W100 以下 8 障害、9 飛越(経路図参照)
- ・ 形式 : 基準表 A とするが、通常の採点に加え「誘導の部」「飛越状態の部」に着眼して採点を行う。
- ・ 審査 : 審査を①誘導の部、②飛越状態の部、③通常の部、の3セクションに分けそれぞれ審査する。または、①誘導の部及び飛越状態の部、②通常の部、の2セクションに分けそれぞれ審査する。誘導の部・飛越状態の部を担当した審査員(2~3名)の平均得点から通常の部の過失点(基準表 A)を差し引いた点を得点とする。

1. 障害飛越審査の要点

①誘導の部

- ・ 障害の中央へ正しく誘導しているか。
- ・ 適切な踏切を行っているか。
- ・ 適切なペース、リズムで走行しているか。
- ・ 走行中、正しい騎乗姿勢が維持されているか。
- ・ 走行中、正しい扶助操作を行っているか。

②飛越状態の部

- ・ 飛越前、中、後における騎手の安定感。
- ・ 前傾は遅れていないか、また、先飛びしていないか。
- ・ 拳はゆずられているか。
- ・ 着地の際、状態はつつこんでいないか。
- ・ 正しい脚の位置は保たれているか。

社馬連資格審査会審査要領(B・Cグレード)

1 筆記試験

B・C受験者共に馬術の基礎知識について筆記試験を行います。

出題内容は「日本馬術連盟騎乗者資格B級」程度です。

- ① 馬の馬体名称、毛色、品種、歩法、扶助、馬具、部班運動
- ② 馬スポーツ憲章
- ③ 馬の管理
- ④ 馬場馬術競技のルール
- ⑤ 障害馬術競技のルール

筆記試験の合格基準はB、B'は70%以上を合格とする

Cは50%以上を合格とする

2 実技試験

B・C受験者共に同一の部班審査を行います。

この審査で50点以上の者が障害の審査に進むことができます。

部班運動の着眼点

- ① 正しい姿勢(含むアブミの長さ)とバランス
- ② ハミ受けの状態
- ③ 正しい運歩の維持とリズム
- ④ 直線上・曲線上の真直性

障害飛越審査(障害数8個のコース)の着眼点

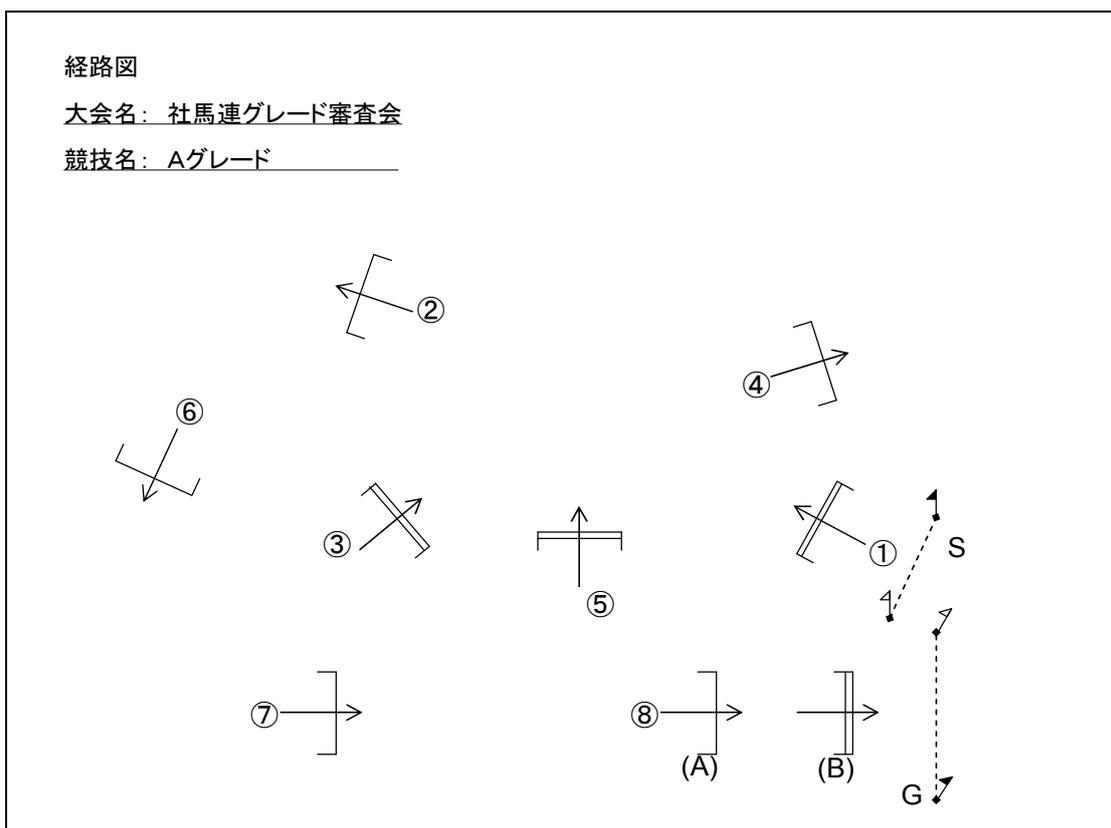
- ① 騎手のバランス
- ② 馬の誘導とペース
- ③ 飛越状態

3 実技試験合格基準

Bグレード	:部班・障害審査共に50点以上の者
B'グレード(馬場限定)	:部班審査で50点以上の者
Cグレード	:部班審査で40点以上の者
Dグレード	:部班審査で40点未満の者

障害飛越経路

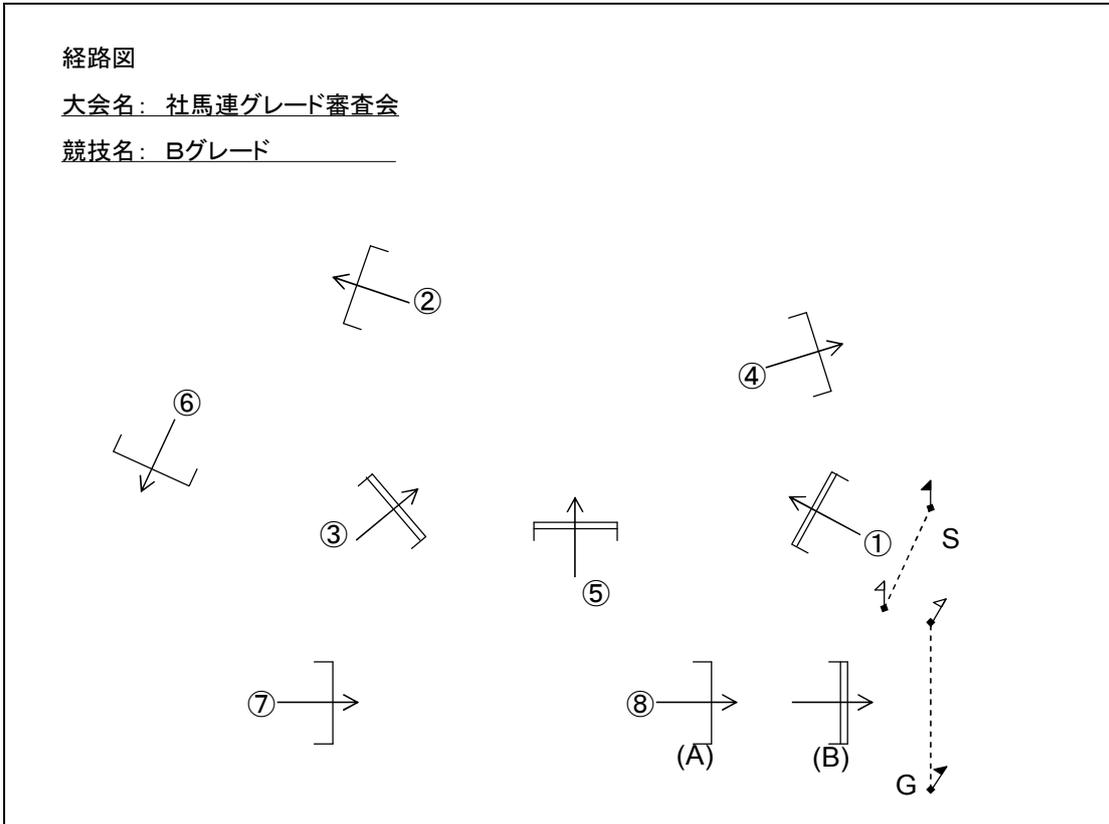
Aグレード



No.	障害の種類	高さ	幅
1	オクサー	70cm × 80cm	70cm
2	垂直	80cm	
3	オクサー	80cm × 90cm	80cm
4	垂直	90cm	
5	オクサー	80cm × 90cm	90cm
6	垂直	90cm	
7	垂直	90cm	
8(A)	垂直	90cm	
(B)	オクサー	95cm × 100cm	100cm

(注)経路および障害の高さに関しては、開催場所や当日の都合で変更になる場合があります。

障害飛越経路
Bグレード



No.	障害の種類	高さ	幅
1	オクサー	60cm × 70cm	60cm
2	垂直	70cm	
3	オクサー	60cm × 70cm	60cm
4	垂直	70cm	
5	オクサー	70cm × 80cm	70cm
6	垂直	70cm	
7	垂直	80cm	
8(A)	垂直	80cm	
(B)	オクサー	70cm × 80cm	80cm

(注) 経路および障害の高さに関しては、開催場所や当日の都合で変更になる場合があります。

以上